

<別紙1> 朝鮮通信使寄港地（兵庫・岡山・広島・山口4県7か所）

	赤間関(下関)	上関	下蒲刈	鞆の浦	牛窓	室津	兵庫津
場所	山口県下関市	山口県上関町	広島県呉市（下蒲刈島）	広島県福山市	岡山県瀬戸内市	兵庫県たつの市	兵庫県神戸市兵庫区
接待した藩	毛利藩	毛利藩（岩国）	浅野藩	福山藩	池田藩（備前岡山）	姫路藩	尼崎藩
広島県呉市下蒲刈島の「松濤園」展示されている説明文参照	赤間関の客館は阿弥陀寺の境内に新築されていた。海岸まで山が迫っており、山を背に海が一望できる素晴らしい場所にある。引接寺、阿弥陀寺、信使客館と建物が3つ並んでいて、客館には三使と上々官・上判事などが、引接寺には上官・中官以下が、宗対馬守は本陣に分宿した。阿弥陀寺は現在の赤間神宮	上関は長島という島の港で、本土側の山地が北側の岩国市の方かせり出し、対岸の長島との間に細い海峡を作っている。西国の参勤交代や北前船が停泊する港であった。町は海岸に沿って細長く、朝鮮通信使船は唐人橋に上陸した。唐人橋から通信使の宿館までは筵が敷かれ、通信使に土を踏ませないように配慮がされた。	三之瀬の港に客館があった。波止場には掛け出し橋が3カ所あって、三使の船をそれぞれ繋留するように作られた。上陸すると波止場から客館の門前まで筵が敷かれた。雁木の前が対馬守本陣、その隣に下之茶屋があり、本陣の間に上官・次官小屋があった。	例年三使の客館は港口近くの福禅寺であった。ここからの眺めは「日東第一景勝」と通信使の中でも評判の客館であった。	客館は藩主の御茶屋で船着き場から門までは筵3枚並べて敷き、式台までは毛氈が敷き詰められた。使行録では「客館の建物は木片で厚く覆われそれが綺麗に揃っていて彫刻師の手によるもののようにあり、内部の諸具も今までのところと変わらず巧妙な品々である」と言っている。6回までは本蓮寺が三使の宿舎、7回以降備前藩主の別荘である御茶屋が宿泊所となった	牛窓から室津まで40kmの海路。一行が護衛船に囲まれて室津に向かうなかで、船上から赤穂城を望んだ曹命采は「望楼が空中に聳え民家が地を埋めていて、大きな都会がある」と言っている	尼崎藩は兵庫城跡に陣屋を置き、兵庫奉行を派遣して支配を行っていた。1769年、兵庫津から幕府領に編入されると、大坂町奉行所の支配を受けることになり、勤番所には大坂町奉行所から与力・同心が派遣され、常駐した。朝鮮通信使の兵庫津での接待を任せられた尼崎藩は、港の準備や宿泊先の手配などに奔走した。朝鮮通信使の宿となったのは阿弥陀寺で
寄港回数	本土最初の地として11回上陸、淹留	11回（復路は8回）	11回（往復とも寄港）	11回	11回（そのうち9回は町に上陸し宿泊）※第4回から迎接所として幕府に指定された	11回	11回
現存する通信使関連施設	阿弥陀寺公園（朝鮮通信使上陸淹留之地）石碑のみ 赤間神社 下関市立博物館（一部展示）	旧上関番所（御茶屋跡も同じ敷地内にある） 看板での説明多数	松濤園（通信使関連展示多数あり） 三之瀬御本陣芸術文化館	対潮楼（福禅寺）（通信使関連展示あり）※国史跡 本蓮寺 ※国史跡 船溜まりと本町の町並み	海遊文化館（通信使関連展示あり） 本蓮寺 ※国史跡 船溜まりと本町の町並み	室津海駅館（通信使関連展示あり） たつの市室津出張所（姫路藩の御茶屋跡）	兵庫津ミュージアム（一部展示） 神戸市立博物館（一部展示） 禅昌寺（須磨区）（一部展示）
通信使関連のお祭り	馬関まつり（平家踊りと並列のコンテツで実施）例年8月下旬実施	確認できず	朝鮮通信使再現行列（3年前まで毎年10月に実施）	確認できず	牛窓秋祭り（唐子踊、船形だんじり）例年10月第4日曜日 朝鮮通信使11月第1日曜日実施	確認できず	確認できず
現在の町並み	港からすぐに国道を挟んで赤間神社となっていて、町並みは残っていない。	回船問屋や街道らしい町並みが残っている。また平地が少ないのか石垣の上に家が建っていることが多い。	三之瀬地区は瀬戸内海交通の重要地点として本陣、番所が設けられ、公式の海駅に指定されている。石畳通りに重要な施設が立ち並んでいる。	古い街並みを残しつつ、観光スポットはしっかり整備されている。加藤清正を祀るお寺や山中鹿之助首塚、ささき橋などバリエーションも豊富。	おまち唐琴通りは港町として栄えた江戸時代から昭和30年頃の面影を多く残している。江戸時代の道幅のまま、片道約1km	江戸時代には「室津千軒」と言われ大いに栄えた。本陣が最大6軒もあった。一宿にこの数字は異例のこと。参勤交代時に西国大名は必ずとどまる。箱根に続いて利用された。	当時の町並みは全く残っていない。戦争ですべて消滅してしまったとのこと

上記7カ所に関して各停泊地間で韓国と協議をしてユネスコ「世界の記憶」に登録まで至っている。NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会（対馬市役所 観光交流商工課内）が中心となってとりまとめている